

# 教師ノート

週課	第三年 第八課 第三週
単元	基本的な教理・3
テーマ	いやし
タイトル	いやしは今も起きるのでしょうか
テキスト	マルコ10:46-52
参照箇所	出エジプト 15:26、マタイ 4:23、マタイ 9:35、1ペテロ 2:24、使徒 3:16、ヤコブ 5:14-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ8:17 or マルコ16:18b
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	<p>病気になったら、どうしますか。神様はいろいろな方法でいやしをされます(自然、愛情、お医者さんと薬)みなさんは神様にお祈りすると病気がいやされると知っていますか？</p> <p>☞アッセンブリー教団の中でも、多くのいやしの証を聞きます(癌や諸々の病気のいやし) さらに現在はインターネットにより、国内外の情報がすぐに手に入ります。導入に良いと思われる写真、動画があれば、見せることも一案でしょう。</p>
□ポイント1 バルテマイはどのような人ですか？	<p>バルテマイは、目が見えませんでした。そのため普通には働けず、物ごいをする事しか出来なかったのです。バルテマイは物ごいの生活ですから、医者にかかって目が治る望みもありません。神様にすがって治していただくしか方法がなかったのです。</p> <p>バルテマイは、どこかで、「町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気をいやされた…(マタイ 9:25)」というイエス様の話を聞きました。</p> <p>彼は、後でイエス様のことを「ダビデの子」と叫んでいますから、すでにこの時までにはイエス様を救い主と信じていたようです。そしてイエス様にお願いすれば、必ず目の病気は治ると確信していたのです。</p> <p>☞バルテマイとは、アラム語で「テマイの子」という意味です。</p> <p>☞「ダビデの子」とは特別なメシア的称号です (詩篇 72 編、イザヤ 9:7)</p>
□ポイント2 バルテマイはどのようにイエス様にお願いをしましたか？	<p>バルテマイは、イエス様がやってきたと聞くと「ダビデの子のイエス様。私をあわれんでください。」と叫び始めました。しかしまわりの人々は、彼の気持ちは分らずに、うるさいと考えて、バルテマイを黙らせようとしてました。しかし「この方しかいない」と信じているバルテマイはあきらめずますます大声でイエス様に叫び求めました。</p> <p>イエス様がバルテマイを呼び出してくださり、彼がイエス様の前に出た時、「わたしに何をして欲しいのか」というイエス様の問いかけに「目が見えるようになることです」とはっきりと信仰の告白をしました。イエス様はそれを聞いて「あなたの信仰があなたを救ったのです」と言われ、直後に目がいやされたのです。</p>

☞ある牧師先生が、貧しい人のほうが多くいやされるという証をしていました。お金持ちは医者や薬に頼ることができますが、貧しい人々は神様にしか頼ることができません。発展途上国のいやしの集会で、多くのいやしが起きるのも、人間側の信仰によるものであるといえるでしょう。生徒たちにその様な強い信仰を伝えることができれば幸いです。

### □ポイント3 目がいやされたバルテマイの信仰とはどんな信仰だったでしょうか

バルテマイは、イエス様のことを聞いて「ダビデの子」と信じていました。すなわち神の子であり救い主という信仰を持っていたのです。いやしは信仰を通じて起こります。救い主によって必ずいやされるという信仰に、神様は働かれるのです。

☞バルテマイが熱心にイエス様を求めると同時に、イエス様に呼び出された時、彼は「上着を脱ぎ捨てて、すぐに立ち上がって」イエス様のところにやってきました。彼にとっての上着とは、物ごいと分る商売道具であると同時に、夜具でもありました。自分の生活に欠かせないものよりも、イエス様を求める気持ちのほうが強かったのが、バルテマイの信仰です。

☞又いやされた後、バルテマイはイエス様について行っています。いやしを受けたらイエス様から離れてしまう信仰ではないのです。救い主イエス様にますます感謝の気持ちをもって従う姿は、神の恵みに感謝し、生涯イエス様と共に歩むクリスチャンの姿といえます。

### □結論 病気になったら、救い主イエス様がいやしてくださいと固く信じてお祈りしよう。

いやされたらますます感謝してイエス様についていこう。

### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

病気になった時、みんなはどうしますか？ 神様はこの世界を造り、私たちが造られたから、最高のお医者さんです（出エジプト 15:26）。そして、神の子イエス様も病気をいやして下さいます。（マタイ 8:17・I ペテロ 2:24）またイエス様を信じたお弟子さんたちもお祈りするとイエス様の力で病気がいやされました（マルコ 16:18）。だから、イエス様を信じる「ぼくたちわたしたち」がお祈りすると、イエス様は病気をいやして下さるのです。

世界中で、イエス様の名前でお祈りすると、たくさんの病気がいやされています。日本でも、私たちの周りでも祈っていやされることはたくさん起きています（お友達や先生に聞いてみましょう）。神様は、お医者さんや薬を使って病気を治すこともされますが、お祈りすることで病気をいやされることもたくさんあります。だからもし自分やお友達が病気になったら、まず最初に神様を信じてお祈りをしましょう。神様はかならず素晴らしいことをして下さいます。